

(8) 下野市スポーツ活動拠点整備事業について

■ 下野市スポーツ活動拠点整備基本構想（平成25年3月策定）

① 市民ニーズに対応した陸上競技場の整備

(ア) 多目的競技場として整備

「競技、観覧、活用しやすい施設」とするために、陸上競技に限らず、スポーツに関しさまざまな目的に活用できる施設として整備をめざします。

(イ) ユニバーサルデザイン・使いやすさに配慮した整備

観覧者、高齢者、障がい者など競技者に限らず、誰もが安全・快適にスポーツを楽しむことができる施設として整備をめざします。

(ウ) 地域に根ざした市民スポーツの中核施設としての整備

地域に根ざした施設にするとともにスポーツ文化の向上も含めたスポーツ振興の中核を担う施設として整備をめざします。

(エ) 施設の規模・仕様等

競技場の規模・仕様等については、原則として第4種公認陸上競技場(400×8レーン、全天候型トラック)の基本仕様を満たすものとします。



② 公園緑地機能を備えた市民に親しまれる公園の整備

(ア) 市民が自然を通して健康づくりの場となる公園

市民の誰もがスポーツに親しみ、安心して利用できる施設整備をめざします。

(イ) 環境に配慮した公園

地域に残っている貴重な平地林を保存し、市民が自然にふれあえる公園整備をめざします。

③ 防災機能を持つ公園の整備

(ア) 地域防災拠点の役割を有する公園

災害時において、広域避難所として地域防災拠点の役割を有する施設整備をめざします。

(イ) 災害時に活用できる公園

駐車場等は災害時に活用できる施設整備をめざします。



陸上競技場のイメージ

(所在地)
大松山運動公園
大松山1丁目7番地1



トラック・インフィールド



ジョキング走路



芝生スタンド・身障者用観覧席